

# 鳥類調査結果

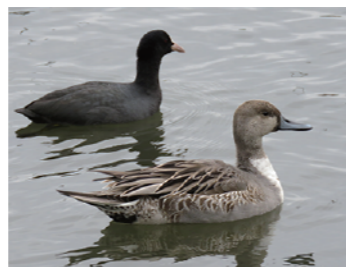
博物館学芸員が毎月行っている我孫子市内の鳥類調査の結果です

## ●手賀沼水面鳥類センサス結果

調査日：2016年9月15日、10月13日、11月14日(9:00~12:00)

科名	和名	9月	10月	11月
カモ	オカヨシガモ		7	32
	ヨシガモ			2
	ヒドリガモ		1	26
	マガモ		1	69
	カルガモ	127	150	235
	ハシビロガモ		24	1
	オナガガモ		20	29
	トモエガモ			1
	コガモ	15	159	392
	ホシハジロ			17
	キンクロハジロ		2	2
	スズガモ		7	
	ホオジロガモ			1
ミコアイサ			2	
カイツブリ	カイツブリ	24	18	11
	カンムリカイツブリ	1		91
	ハジロカイツブリ			29
ウ	カワウ	127	145	105
	ウミウ			1
サギ	ヨシゴイ		1	
	ゴイサギ	6	5	
	アマサギ	1		
	アオサギ	11	6	5
	ダイサギ	7	10	3
	チュウサギ	2	2	
	コサギ	7	15	26
	サギ科不明種	1	1	
	クイナ	クイナ		
バン			3	3
シギ	オオバン	19	35	152
	イソシギ	1	1	1
カモメ	ユリカモメ		6	73
	セグロカモメ			1
	ニシセグロカモメ		1	1
	クロハラアジサシ		3	
タカ	ミサゴ		2	4
	トビ	3	4	1
カワセミ	オオタカ		1	
	カワセミ	7	6	14
モズ	モズ	2		
	ハシボソガラス	1	4	8
カラス	ハシブトガラス			3
	コブハクチョウ	24	26	31
家禽や外来種	アヒル	1	1	
	合計*	387	639	1342

\*不明種、家禽や外来種を除く



オオバンとオナガガモ(10月)



オオタカ(10月)



イソシギ(11月)



ユリカモメ(11月)

### 鳥の博物館オリジナルトートバックができました!



水鳥の実物大の足跡がプリントされています。キャンバス生地の丈夫なトートバックで、A4サイズの書類が入ります。

2階ミュージアムショップで販売中!

600円(税込)

大きさ:縦30cm×横40cm×底12cm

# あびこ鳥だより

ABIKO BIRD MUSEUM LETTER Vol.45

Winter  
2017  
【冬号】



## 【特集】

冬に野鳥を楽しむために

## 【最新情報】

新企画展「鳥の子育て—ジオラマで見る鳥の繁殖—」がスタートします!

休館中の館内の様子を見学してもらいました

表紙の鳥 ハマシギ

## 利用案内

- 開館時間 午前9時30分~午後4時30分
- 休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)、館内整理日、年末年始(12/29~1/4)

	区分	個人	団体
入館料 (当日有効)	一般	300円	240円
	高校生・大学生	200円	160円
3館共通入館料 (1か月有効)*	一般	600円	
	高校生・大学生	400円	

・入館料免除の方①70歳以上の方 ②障害者手帳等をお持ちの方(付き添い1名含む)

・中学生以下の方は入館無料

\*白樺文学館、杉村楚人冠記念館との共通券

## ●お問い合わせ：我孫子市鳥の博物館

〒270-1145 千葉県我孫子市高野山 234-3  
☎: 04-7185-2212 FAX: 04-7185-0639



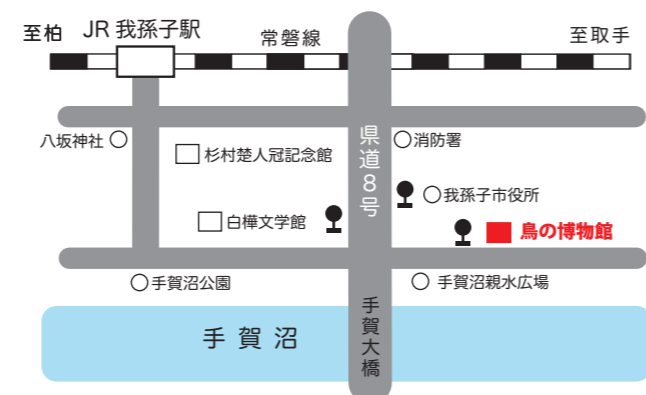
## 交通案内

JR 我孫子駅南口バス停より市役所経由

バスで「市役所」下車、徒歩5分

\*毎週土日祝日は博物館行きのバスが運行しています

我孫子駅南口バス停より、天王台行きバスで「鳥の博物館」下車  
天王台駅南口バス停より、我孫子駅行きバスで「鳥の博物館」下車  
自動車利用の方は地図をご覧ください(駐車場無料/大型バス駐車可)





### 「冬に野鳥を楽しむために」 おや？ いつもの鳥とは違うような

みなさんは鳥の名前をどの位知っていますか。名前と姿が一致する鳥はどの位いますか。庭先で見られるような鳥を挙げるとスズメ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ムクドリ、コゲラなど、いくつかの鳥が思い浮かびます。特別な場所に行かなくても、外に出るだけで何種かの鳥を目にしていることでしょう。足を延ばして環境を変えてみると、見られる鳥の種数は増えていきます。

野鳥を観察していると、種や行動など、季節による違いがあることに気が付きます。一年を通して同じ地域に生息する鳥を「留鳥」と言います。留鳥とは違い、季節によって移動する鳥を「夏鳥」、「冬鳥」、「漂鳥」などと言います。冬にカモの仲間が集まる池を見たことはありませんか。関東の平地で年中見られて、繁殖もしているカモ類はカルガモだけで、多くは秋になると北の地域から日本に渡来します。

また、群れで行動する野鳥を見ると、普段よく目にしている鳥の中に、季節限定で見られる鳥が混ざっていることもあります。同じように見えて、殆ど季節限定の鳥であることもあります。身近なカラス類の中に、留鳥のハシボトガラスとハシボンガラスがありますが、冬鳥としてはミヤマガラスやコクマルガラスが大陸からやってきます。これらのカラスは同じ群れにいることも多く、一見同じ種だけの群れに見えても、実は何種かのカラスと一緒にいることもあります。身近なスズメの群れにも違う種の鳥が混ざっていることもあります。「いつもの鳥か」と思わずに、よく観察すると面白い発見があるかもしれません。



スズメ

頬の黒丸が特徴。よく見ると翼は茶色一色ではありません。



スズメの群れに混ざるニューナイスズメ(メス)  
円内がニューナイスズメ(2015.12.28 福島県で撮影)



### 鳥の賑わい

冬鳥が渡来する秋から冬にかけては、野鳥を観察するのによい季節です。寒くなり野外に餌が少なくなってくると、庭先の木の実や餌台に置いた餌に野鳥が頻りにやって来るようになります。庭先に飼犬がいようと、お腹をすかせた野鳥には関係ないようで、次々と庭木に降り立ちます。夢中になって餌を食べているため、かなり近くで採食の様子を観察することができます。実を食べる際に趾(あしゆび)で抑えたり、時には嘴(くちばし)で突き刺して持ち去ります。



トキワサンザシの実を食べるメジロ



キンカンの実を運ぶオナガ

種を蒔いた覚えがないのに、いつの間にか植物が芽生えていた、なんていう経験はありませんか。それらの中には、鳥が落としていった糞の中に含まれた種子が発芽したものもあります。

### 野鳥との距離を大切に

野鳥の餌については近年、鳥インフルエンザの他、公園や水辺での給餌による水質汚染も問題視されています。給餌に対する考え方は人によって様々で、慎重に考えていかなければならないテーマです。

よく耳にするようになった鳥インフルエンザですが、A型インフルエンザウイルスによる鳥の感染症のことを鳥インフルエンザと言います。A型インフルエンザウイルスの自然宿主はカモ類です。

鳥インフルエンザウイルスが、野鳥から直接人に感染した例はこれまでありません。通常、人に感染することはありませんが、濃厚接触をした場合など、ごく稀に感染することがあります。羽や糞を吸い込まないように気を付けると共に、鳥のためにも、人がウイルスを他の場所へ運ばないように注意が必要です。やたらに恐れることはありませんが、自分は大丈夫だという過信もよくありません。正しい知識を得て、それを個々で守ることによって、無用なトラブルは避けたいものですね。



鳥インフルエンザに関する案内表示



人があげる餌に集まる水鳥  
白色：コハクチョウ、茶色：オナガガモ

### 新企画展「鳥の子育て—ジオラマで見る鳥の繁殖—」がスタートします！

鳥にとっての子育ては、一年のうちで最も大事なイベントです。次の世代により多くの子孫を残すために、さまざまな戦略を持っています。この企画展では、鳥の博物館で収集した繁殖に関わるジオラマや剥製を展示し、鳥たちの巧みな子育ての様子を紹介いたします。実際に手賀沼周辺で見られる鳥の子育てを観察する際の見所についても紹介します。

開催期間：2017年2月11日(土)～6月25日(日)



キジの家族



コチドリの偽傷行動



### 休館中に館内の様子を見学してもらいました

鳥の博物館では、空調工事のために収蔵庫の標本を全て3階の世界の鳥コーナーのスペースに移動させました。およそ3000点の標本が一度に集まったので、この機会に市民スタッフのみなさんに見ていただきました。

最近製作した標本や標本の整理状況などを学芸員が説明し、標本の製作方法などについても理解を深めてもらいました。2月のオープン以降はこれまでどおり収蔵庫にて保管する予定です。



学芸員による説明



移動した標本

### イベント情報

#### ●講演・座談会

##### ○鳥博セミナー

日時：2月18日(土) 13:30～15:00

場所：博物館多目的ホール

定員：先着50名(要予約)

申し込み：2月1日より電話で受付開始

テーマ：「日本の鳥の今を描く 全国鳥類繁殖分布調査」

講師：植田睦之さん(NPO法人バードリサーチ代表)

##### ○テーマトーク

時間：13:30～14:00

場所：博物館多目的ホール

定員：先着50人(参加無料)

2月11日(土)「アホウドリ 小笠原で繁殖成功が意味するもの」

講師：小林さやかさん(山階鳥類研究所自然誌研究室専門員)

3月11日(土)「毎日運行する漁船に営巣したツバメ」

講師：平岡考さん(山階鳥類研究所自然誌研究室専門員)

\*申し込み先：04-7185-2212(我孫子市鳥の博物館)

\*自然観察会は高校生以上の方は保険料100円がかかります

\*館内で行うイベントは参加無料でも入館料が必要です

#### ●自然観察会

##### ○てがたん～自然観察会～

時間：10:00～12:00(雨天中止)

定員：なし

集合場所：博物館入口(予約不要)

2月11日(土)「気に入らない木を気にしてみる冬の散歩道」

3月11日(土)「春を探そう」

##### ○あびこ自然観察隊④「オーイ!冬鳥くん」

日時：2月12日(日) 9:00～15:30

集合場所：鳥の博物館駐車場

定員：16人(要予約、小学3年生以下は要保護者同伴)

申し込み：2月1日より電話で受付開始

##### ○あびこ自然観察隊⑤「春の谷津田観察会」

日時：3月20日(月・祝) 9:00～15:30

集合場所：JR東我孫子駅前

定員：30人(要予約、小学4年生以下は要保護者同伴)

申し込み：3月1日より電話で受付開始

2017年1月～3月